

[専門教育科目/看護の統合と発展]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
医療安全論	NSP44_006	選択	1	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
小林 美雪	407	m.kobayashi	授業終了時、水曜日 16:00 以降		
授業の目的・概要	安全確保は、医療・福祉に従事する全ての職種にとり基本的な責務としてある。平成18年医療法において「医療の安全の確保」が法制化された。それに連動して看護職養成のためのカリキュラム改正においても医療安全の基礎的知識の習得が位置づけられた。 本授業においては、これまでの各論授業や臨床実習で学んだ看護を「安全」の観点から検討を加え、看護職としての医療・福祉の場での安全確保の責務とそのための具体的な方策について、対面授業と同時双方向型による遠隔授業により学ぶ。授業評価は、試験と最終レポートにより判定する。				
学習上の助言	近年の看護師国家試験で設問が増えている医療・福祉の場での安全の問題を意識的に取り上げる。各自でも新聞やテレビ等の医療事故等の報道について意識的になることを望む。				
教科書	ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践(2) 医療安全 第4版/監修:松下由美子他/メディカ出版/2021				
参考書	授業の中で提示する。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護の法的規定と医療安全について説明できる	NS(1)(2)			
②	事故発生のメカニズムと事故予防、事故発生後の対応について説明できる	NS(1)(2)(3)			
③	看護における医療事故と安全対策について説明できる	NS(1)(2)			
④	医療安全施策と医療安全管理者の役割を理解できる	NS(1)(2)(4)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	看護の法的規定と医療安全について学ぶ	講義	事後課題①:「安全とはなにか」についてレポートする。	2	
2	「安全とは何か」について事故発生メカニズムとリスクマネジメントの実際を学ぶ①	講義・ディスカッション	事前課題:テキストp74~87を読み、授業で自己の意見を述べられるようにする。	4	
3	事故発生メカニズムとリスクマネジメントの実際を学ぶ②	同時双方向型授業	事前課題:テキストp88~94、p106~109を読み、授業で自己の意見を述べられるようにする。	4	
4	看護における医療事故と安全対策についておよび、看護学生の実習と安全について学ぶ	同時双方向型授業	事前課題:テキストp126~174を読み、授業で自己の意見を述べられるようにする。 事後課題②:看護学生の実習と安全についてレポートする。	4	
5	医療事故への対応について学ぶ(DVD視聴)(事故防止/再発防止/事故発生時の対応)	講義・ディスカッション	事前課題:p59~71を読み、授業中のDVDが理解できるようにする。	4	
6	安全文化とはなにか 医療事故防止の方法を学ぶ(KYT・5S)	講義・GW	事後課題③:提示した事例について、各自でKYTを行う。	4	
7	医療安全施策と施設での医療安全管理体制および医療安全管理者の役割について学ぶ	講義・ディスカッション	事前課題:テキストp34~58を読み、授業で自己の意見を述べられるようにする。	4	
8	医療安全についての各自の考えの変化と臨床での取り組みについて考える。	講義・GW	事後課題④:医療安全についての各自の考えの変化と臨床での取り組みについてレポートする。	4	
試	達成度評価・評価のポイント参照				

[専門教育科目/看護の統合と発展]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	50	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	30	20	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	10	20	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	10	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	医療安全の基本的な知識について、50%で評価する。				試験終了後に振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①	✓	レポートにより、授業内容の理解および学生自身の考え方が明確に表現されているかを50%評価する。 (事後課題①②③各10%、事後課題④20%)				授業内で共有する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①	✓					
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
ポートフォリオ	①	✓					
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
その他	①	✓					
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
備 考							
<p>教員の実務経験:看護師として23年の臨床経験を有し、厚生労働省で第5次医療法改正による医療安全対策の法制化に関わっていた。</p> <p>実践的授業の内容:実務経験のある教員の指導のもと、医療安全の基本的な知識について理解を深める。教員の経験からの実践事例を取り上げ、教科書を補強しながら学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試験時の教科書持ち込みは不可です。</li> <li>大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業に参加できません。</li> <li>Teamsを使った同時双方向型授業に際しては、通信容量が無制限のWi-fi環境を推奨いたします。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の状況などの社会情勢により再度シラバスの変更があることも考えられるので、その際は随時、お知らせいたします。</li> </ul>							